

学校給食へ地場産農産物を活用

小平市「夏カレーの日」など実践、利用率3割を目指す

東京都小平市地域振興部産業振興課農業振興担当 角 優花

1 都会から一番近いプチ田舎

小平市は、都心から電車で30分という利便性の中で、玉川上水をはじめとした水と緑の回廊であるグリーンロードが市内を一周し、農地も多く残っていることから、「都会から一番近いプチ田舎」として親しまれる住宅都市です。

2 小平市の農業

小平市には、市のおよそ1割に当たる約190haの農地があり、その9割近くが生産緑地になっています。

小平の農地は、南北に細長く、短冊状の特徴的な地形の場所が多く、その地形をうまく工夫・利用しながら果樹や野菜、花卉などが生産されています。消費者に囲まれた都市農業の特色を活かし、少量多品目が栽培され、生産された農作物は、庭先販売やJA共同直売所をはじめ、市場出荷、スーパーやレストランへの納品など、様々な場所で出荷・消費されています。

また、小平市はブルーベリー栽培発祥の地として知られており、ブルーベリーの摘み取りができる観光農園や、生菓や加工品は贈答品として多くの方に利用いただいております。さらに農業技術を学びながら実際に農作物を作る体験のできる体験農園など、市民が農業に触れることのできる取り組みも行われており、農業が市民に身近なものとして存在しています。

農地が多く残る小平市では、市民の地場産農産物への関心は大きく、直売所へ足を運ぶ市民の姿がよくみられる他、イベント等に開催する農産物

即売会においても、地場産農産物を買って求めに多くの人々が訪れます。

3 地場農産物を利用した学校給食の取り組み

市内公立小学校給食は、それぞれの学校で給食食材を調達しながら調理を行う自校調理方式のため、学校の近くに農家がいないと地場農産物を調達できないことや、決められた時間に食材を届ける必要から、一軒の農家が配送できる学校に限られるなど、様々な課題がありました。

これらの課題を解決するため、市民、JA、関係機関、市が一つになって「農のあるまちづくり推進会議」を組織し、学校給食における地場産農産物の利用促進に向けて検討を行ってまいりました。

小平市では、平成21年度より、「小平市立小学校給食地場産農産物利用促進事業」が開始され、地場産農産物の使用量に応じて、市が補助金を支給することで、地場農産物の利用促進を図っています。

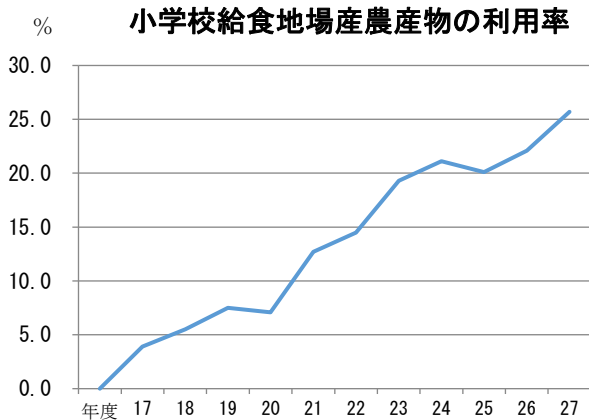
加えて、平成23年度からは、「地産地消推進事業」として、JAと連携し市内農家と調整を図りながら給食の食材を調達・配送する体制の整備を行っています。

農家にとって、小学校給食へ地場産農産物を供給することは、安定した販路の確保及び安定した価格で販売することができるという大きなメリットがあります。

学校給食における地場産農産物の利用率は年々増加しており、平成17年度は3.9%であったところ、平成24年度は20%を超え、平成27年

度には25.8%となり25%を超えました。

今後も目標の30%を目指し、積極的な地場産農産物の導入を進めてまいります。



平冬野菜すいとんの日」も実施しており、「小平夏野菜カレーの日」同様大好評です。



【小平夏野菜カレーの日】

4 「小平産野菜を使用した夏野菜カレーの日」の実施

地場産農産物の利用促進や、食育活動の一環として、小平市では、生産者やJAと連携して、平成24年度から毎年1学期に全19公立小学校で、統一メニューとして、「小平夏野菜カレーの日」を実施しています。

小平市では、「自校調理方式」をとっているため、当日はそれぞれの学校のレシピで、小平産野菜をふだんに使用した夏野菜カレーが登場します。

今年度も、6月24日に全公立小学校一斉に「小平夏野菜カレーの日」が実施され、児童たちのおかわりの列ができるなど、大好評でした。

学校側の協力を得て、生産農家の代表が当日の給食に招かれ、児童たちと共に夏野菜カレーを味わうなど、生産者にとっては、消費者の反応や声を直接知ることができ、地域の子供たちにとっては、小平の農業を身近に感じることができる、よい機会となっています。

今年度のカレーの日は、全国学校給食協会の情報誌にも特集記事として取り上げられるなど、地場産農産物の利用促進への取り組みの認知度も、年々、徐々に広がりつつあります。

その他、夏野菜カレーの日の第二弾として、「小

シンボルマーク



【畑からまっしぐら】

こだいらの農業の象徴として、出荷箱、結束テープ、販売袋、のぼり旗等に登場してPRに一役かっています。



【ブルーベリー栽培発祥の地 こだいら】

愛称:ぶるべー
こだいら産ブルーベリーのPRとともに、小平市の知名度アップの役割を担っています。

小平ブルーベリーの マスコットキャラクター 【ぶるべー】

